



都志見新聞

(医)医誠会都志見病院
http://tsushimi.jp

発行部数 309部
発行月 1, 4, 7, 10月
発行人 都志見病院
広報室



… 学会発表を行いました：臨床工学部 …

【第15回中四国臨床工学会】

令和7年9月6日（土）～7日（日）に広島国際会議場で行われた、「第15回中四国臨床工学会」において、当院臨床工学部の松本優技士が「受変電設備更新に伴う長時間計画停電を経験して」という演題で発表しました。

この学会は中四国の臨床工学技士が集う学会であり、医療機器・生命維持管理装置に関する様々な演題が発表されます。

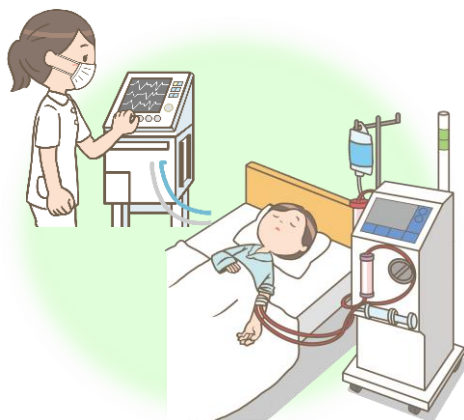
松本技士からは、当院において行われた毎週日曜の8日間、11時間におよぶ計画停電の際、我々臨床工学技士が医療機器の安全な運用を維持するために、どのように対応したかをまとめ、発表しました。

発表後の質疑応答では、長時間停電後、実際にトラブルが発生した機器等はあったのか、またその際の対応・それ以外に注意しておくことはあるか？という質問が寄せられ、参加者の関心の高さを感じることができました。

受変電設備更新に伴う 長時間計画停電を経験して

医療法人医誠会都志見病院
臨床工学部

○松本優 野村知由樹 末廣晃一 末廣みさき 斉藤友貴
大下就平 藤村政弥 中野賢治 田村芳生



【第23回日本高齢者腎不全研究会】

令和7年7月26日（金）～27日（土）に広島市で行われました『第23回日本高齢者腎不全研究会』にて、当院臨床工学部の野村知由樹技士が教育講演に登壇しました。

講演内容は『当院における高齢者透析に対する工夫～臨床工学技士にできること～』と題し、日頃、当院の透析治療で行っている工夫について講演しました。

超高齢化社会への対応は、日本全国の課題ですが、特に萩阿武地域では高齢化のスピードが早く、他の地域よりもある意味先進的な取り組みが必要です。

当院透析室では、高齢患者さんに対してもよりよい透析ライフを送っていただくため、今後も研鑽を積み、様々な工夫をして治療に取り組んでいきたいと思ひます。

当院における高齢者透析に対する工夫 (臨床工学技士にできること)

医療法人医誠会都志見病院 臨床工学部
○野村知由樹 末廣晃一 松本優 末廣みさき 斉藤友貴
大下就平 藤村政弥 中野賢治





令和7年10月 新入医局員紹介



令和7年10月より 殖木洋平医師（脳神経外科）、兼定 弦医師（外科）が当院常勤医として着任されました。今回はお二人の先生方にインタビューをしました♪



- ①趣味は？ ②尊敬する先生とその理由
③医師になろうと思ったきっかけは？ ④もし医師になっていなければ？



脳神経外科
殖木 洋平 医師

- ① スキー、ドライブ
② 医師として働く、全ての先生
③ 小学生のときに腕を骨折して通院した時期。
「外科医ってカッコいいなあ」という憧れから。
④ パイロット



- ① テニス、アニメ
② 村田蔵六（大村益次郎）

村田蔵六は宇和島藩で蘭学を研鑽し、後に軍医として活躍されました。私自身も研修医時代を宇和島市で勤務していた経験があり、ご縁を感じると共に、医師としての歩みに深い敬意を抱いています。

村田蔵六（大村益次郎）

- ③ 医師の家系に生まれ、幼い頃から身近に医療を感じて育ったため。
④ プログラマー



外科
兼定 弦 医師

【退任医師のお知らせ】

金谷妃呂子医師（脳神経外科）、木村祐太医師（外科）が令和7年9月30日付で退職致しました。



No.30

… 秋バテについて …

リハビリテーション部 技士長 佛圓 祐基



今年の夏は例年に比べ猛暑日が続き、外に出られなかったり、体調を崩してしまったりと日々の生活の過ごし方が大変だったと思います。前回（令和7年7月号：リハビリコラム No.29）、夏バテについてお話しましたが、実は「秋バテ」という言葉もあるようです。

秋バテの主な原因は、朝晩の気温差が激しくなり、湿度や台風の発生で気圧の変化も大きくなることに対し体が適応しようとして自律神経が乱れることです。自律神経には体を活動的にする「交感神経」とリラックスさせる「副交感神経」があり、体内を環境変化から一定に保とうとしています。気温の変化に対応しようと交感神経優位の状態が続くと、エネルギー消費が大きくなるため、疲れやだるさなどの症状が現れます。

対策としては①十分な睡眠、②栄養バランスのとれた食事（タンパク質、ビタミンやミネラルが豊富な魚や野菜、海藻類など）、③涼しくなってくるとしますので、できる範囲で適度な運動習慣（ウォーキングやラジオ体操など）、今回も前回と同様に自律神経の乱れが関係していますので、夏バテと同様な対策が良いようです。主治医の先生と相談しながら食事、水分摂取、無理のない範囲で運動などを実施していただけたら幸いです。

「患者サロン・だいたい」様より 氷枕と尿器カバーを寄贈いただきました

猛暑の中、入院患者様のための「氷枕カバー」と、そして今年は「尿器のカバー」も作っていただきました。
サロンメンバーの皆様の心温まるプレゼントは、患者様の入院生活を快適に、そして看護を提供する看護職員にも励ましを与えてくださり感謝の気持ちで一杯になります。
毎年本当にありがとうございます。



《出前講座を開催いたします！（予告）》

〔日時〕：令和7年11月29日（土）〔時間〕：10:00～11:30

〔開場〕：旭マルチメディアセンター **【入場無料・申込不要】**

※参加者多数の場合は、先着順とさせていただきますのでご了承ください。

◎ 講演1 「がんについて知ってみよう」 都志見病院 院長 山本達人

◎ 講演2 「緩和ケアってなんじゃろう？」
都志見病院 緩和ケア専従看護師 秋丸香織

◎ 講演3 「がんと地域医療」 患者サロン「だいたい」代表 岡野芳子 様



看護研究発表会を開催しました



看護研究発表会を6月30日に開催しました。
今年度の発表は3階病棟より「化学療法に携わるスタッフのストレス内容を知り、軽減方法を検討する」を発表しました。
ヒューマンエラーを起こさず安全に化学療法を行うためにチームや病棟で業務を支援し合うことや化学療法に対する正しい知識のアップデートが必要であるということの示唆を共有しました。
研究メンバーの仁保博和さん、田村望さん、三井舞子さん、山田啓子さんお疲れ様でした。

「1日ナース体験」（山口県看護協会委託事業）を行いました

今年も恒例の「1日ナース体験」（山口県看護協会委託事業）を行いました。看護の仕事に興味を持つ学生さんの初々しい様子や質問に看護職員も刺激をいただきました。
2学期には萩商工高等学校の「インターンシップ」と萩東中学校の「職場体験」で計6名の体験を予定しています。看護部では患者様の身のお世話の場面に同行したり、援助の方法を教えもらい実践したり、リハビリテーション部では様々なリハビリテーションの仕事内容を見学します。
魅力的な看護の仕事、医療職への関心と理解を深め、体験を通じて将来の夢を描く契機となり、次世代の看護師、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士など医療を志す人が1人でも増えますように…！

